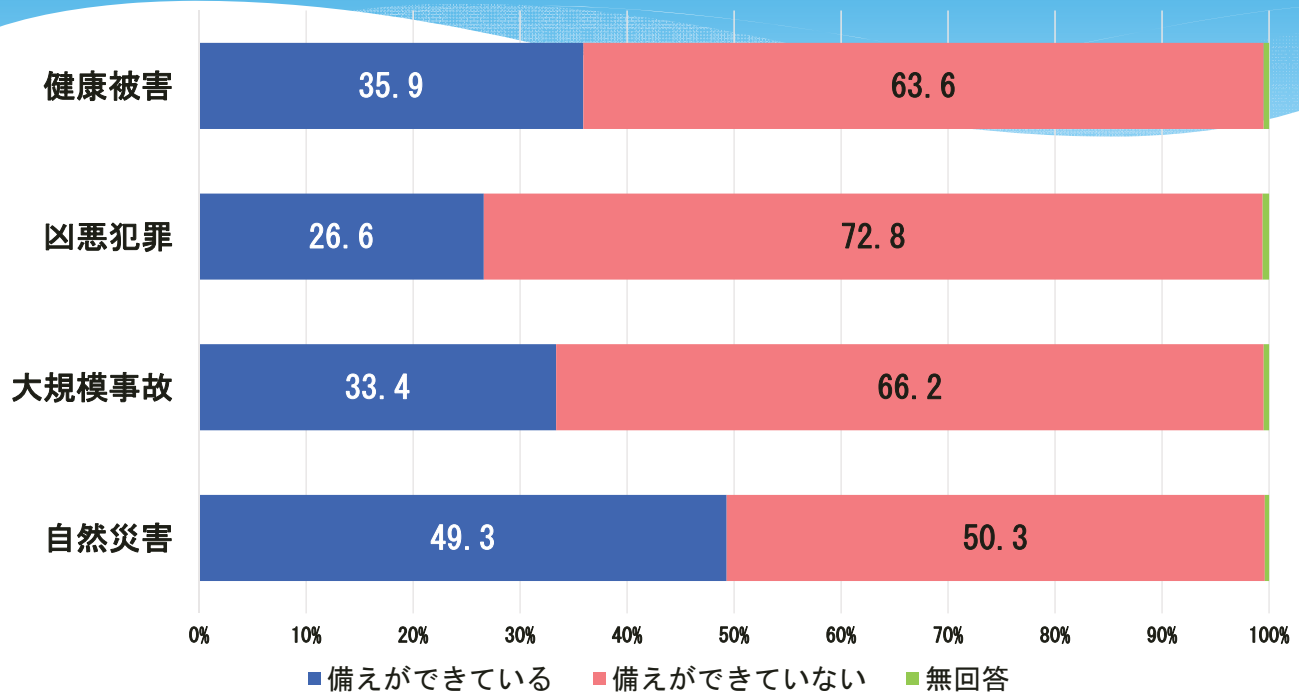


PPPの失敗と 自治体援助活動（PP） － NIMS制度設計に向けて

**明治大学名誉教授
自治体危機管理学会会長
中邨 章**

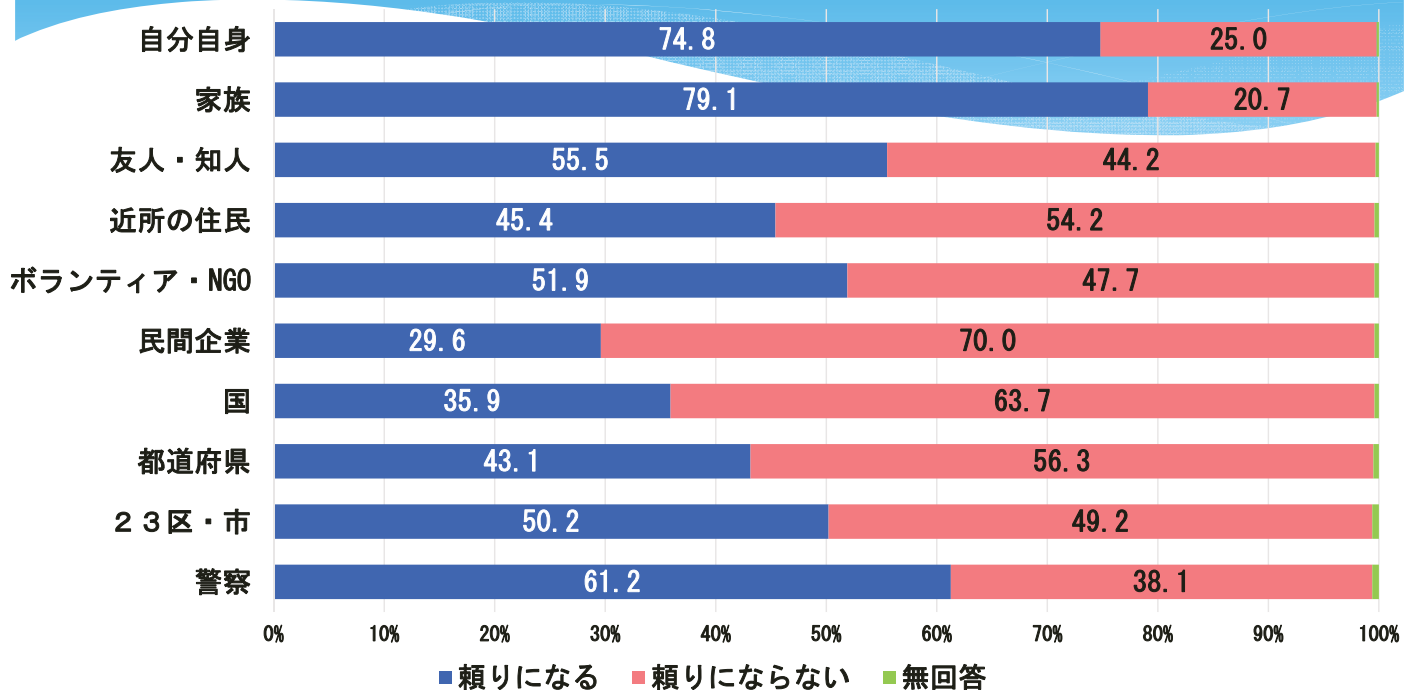
自助と公助の はざまで －住民像の確認

自治体の事前準備と格差



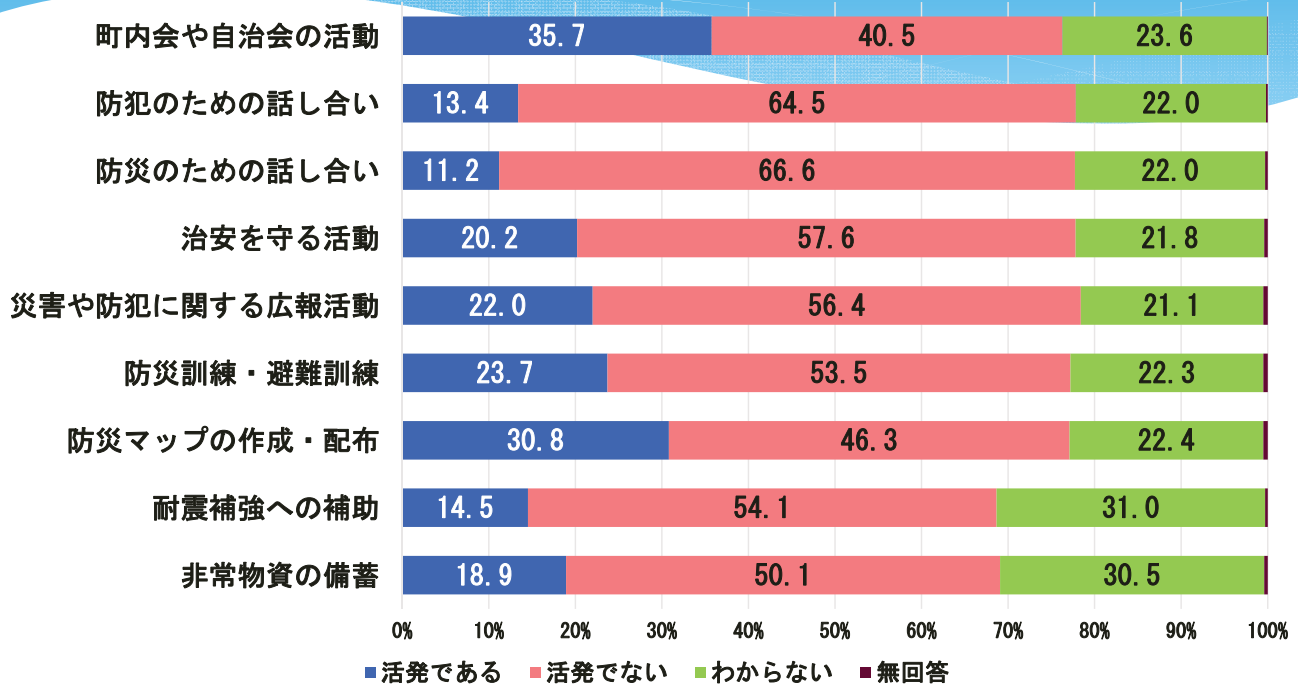
3

自然災害時の信頼主体



4

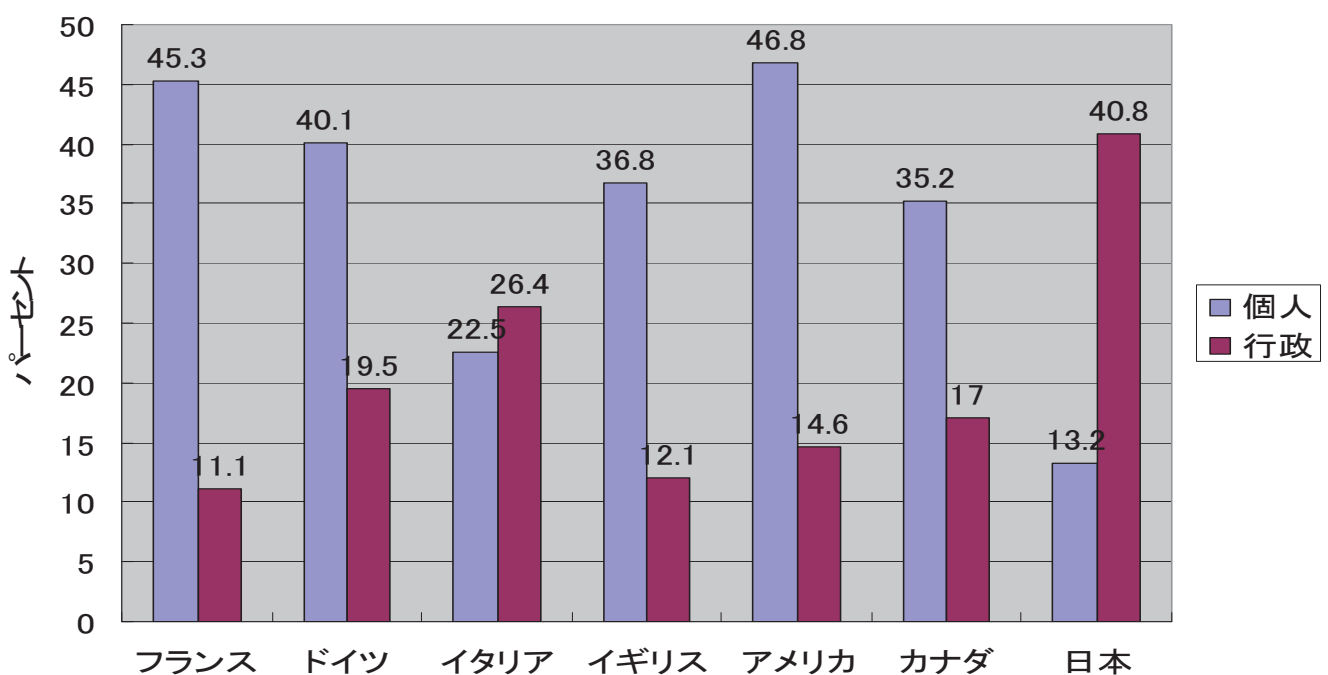
近隣共助と自助不足



5

個人責任 v s. 行政責任


図-4 個人責任か行政責任か



USA TODAY Photos

Home News Travel Money Sports Life Tech Weather

Earthquake, tsunami hit Japan 77 of 182

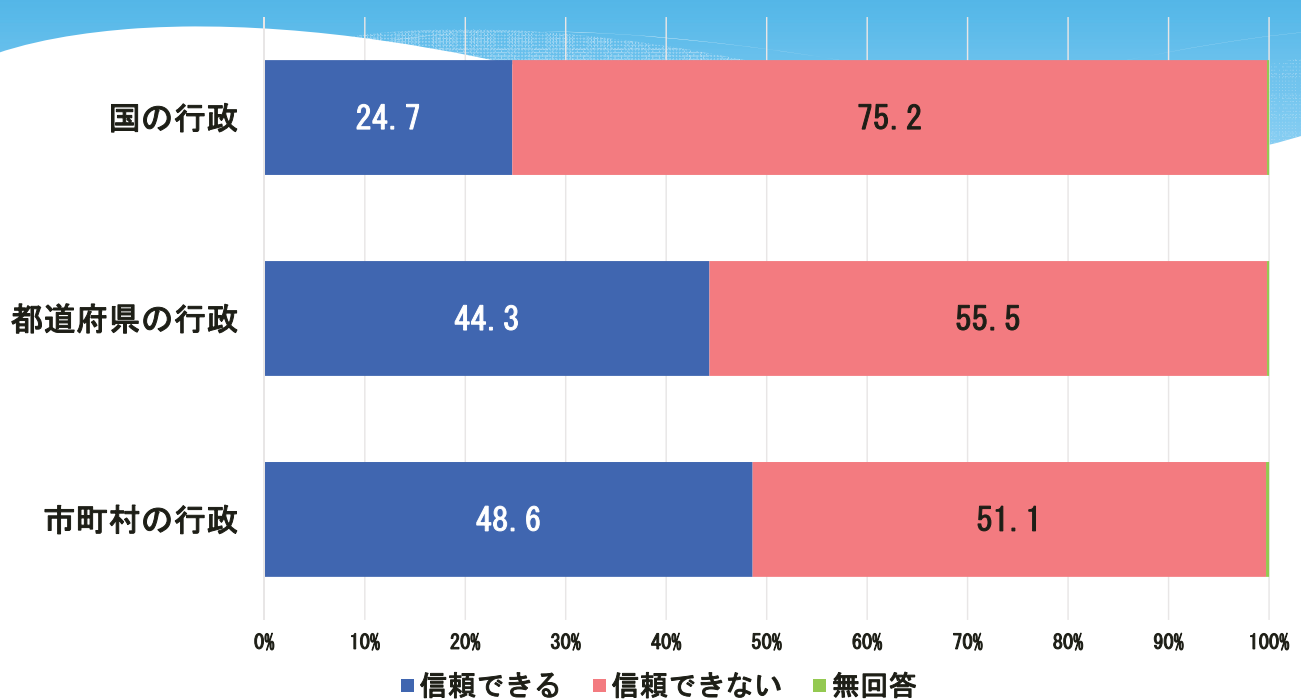


Select an album First days of the disaster

Kyodo News via AP 3/12/2011



自治体への信頼



自助・アメリカの事例

1. テネシー州オピオン郡
ー75ドル
2. クラニック氏の悲劇
3. 2010年9月30日
4. 自宅全焼
5. 公共財と自己責任

9

もえるクラニック家



10

これまでの危機管理 ー協働意識の不足

11

これまでの危機管理と協働

- 1. 地域防災計画(法40, 42条)**
 - (1) 単一の自治体による処理**
 - (2) 事案単位のマニュアル**
- 2. 帰宅難民の発生**
- 3. 早期帰宅の症例**
- 4. 公共施設への過度集中**

12

協働の失敗－帰宅難民の事例

1. 東京都（352万人）首都圏（515万）
2. 公共施設（学校）の保護－74.4%
3. 自治体と駅との連携(59駅)
 - 駅施設を開放－29駅（49.2%）
 - 駅の外に誘導－32駅（54.2%）
 - 市町村と連携－29駅（49.2%）
 - 相談したことがない－30駅（50.8%）

13

NIMS制度化の前に

1. 住民意識の特性－国への不信
2. 協働拡大を志向する政府
－距離をおく企業
3. Public SectorとCivil Society
との関係
4. 機能分担と経費負担
5. 政府部内の意思統一

自治体間協働の成果 (Public-Publicの成果)

- 1. 遠地援助協定の成果**
- 2. 近地協力・受援力の不足**
- 3. 過重負担－危機管理課の新設(2005年68団体)**

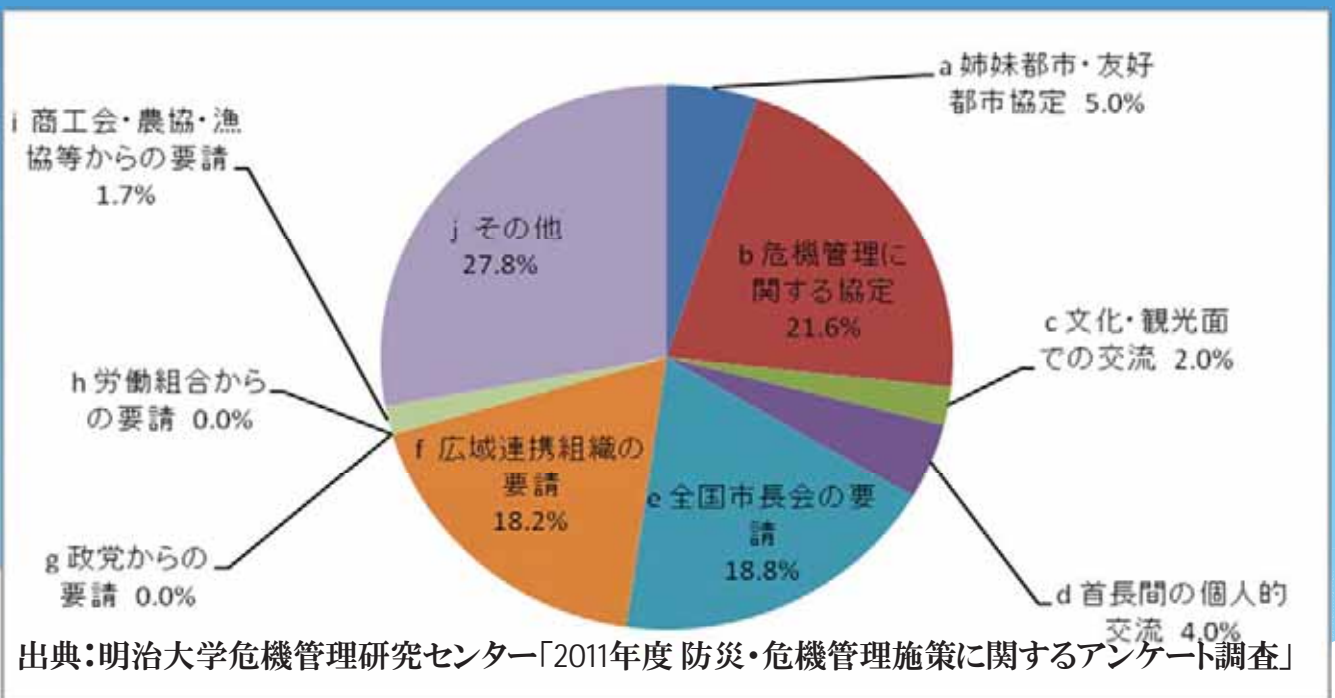
15

自治体の組織間協定

- 1. 隣接しない県外自治体との遠地協定
74件＝92.5%(80自治体)**
- 2. 隣接しない県内自治体との協定
58件＝72.5%**
- 3. 隣接する県内自治体との近地協定
70件＝87.5%**
- 4. 隣接する県外自治体との協定
25件＝31.3%**

16

東日本大震災における 自治体間支援



国を介したパターン

1. 国の人的支援に関わる方針
(2011年3月22日)
2. 被災自治体→被災県→総務省→
全国知事会・全国市長会→
派遣可能自治体
3. 被災自治体イニシアティブに問題
4. 時間がかかる・機動性に欠ける

広域連携組織による対応

関西広域連合方式

1. 支援自治体の割り振り

岩手県←大阪府、和歌山県

宮城県←兵庫県、鳥取県、徳島県

福島県←滋賀県、京都府

2. 現地連絡事務所の設置

- (1) 現地対策本部一宮城県内のほか、気仙沼、南三陸町、石巻市に設置
- (2) 要望の吸収と 需要への対応

19

自治体単独の試み

1. 自治体単独の取り組み

- (1) 北九州市と釜石市（製鉄の町）
- (2) 支援職員登録（8000人中、1000人登録→800人派遣）

2. 神戸市－震災バンク

- (1) 職員データベース
- (2) 経験者の派遣

3. 北九州市釜石デスク

20


複数自治体による対応

- 1. 杉並区と南相馬市の支援協定**
- 2. 他の協定自治体への呼びかけ**
 - (1) 群馬県東吾妻町**
 - (2) 新潟県小千谷市**
 - (3) 北海道名寄市**
- 3. 水平思考**

21

国と自治体との関係

- 1. タテ関係の再検討**
- 2. 危機管理と民主制—地方自治をどうするか**
- 3. Critical Infrastructure Protectionの構築**
- 4. アメリカ、EUなどの事例**



ご静聴、深謝

日本版NIMSと政府の役割 —アメリカの経験から

1. 集権型 (Command and Control)

◇ 評判の悪い現在のNIMS

2. 調整型 (Collaboration and Coordination)

◇ あるべき論

3. 分権型 (Coproduction and Cooperation)

◇ 理想型

参考 = Charles Perrow. (2007). *The Next Catastrophe*. Princeton and Oxford: Princeton University Press.